

# ふちゅう歴史散歩 Vol.152

「我々はどこから来たのか  
我々は何者か…」



午前中のスペシャルトークの様子



午後からの歴史フォーラム

丁寧に会場からの質問に答える  
篠田館長(左)と清家教授(右)。

この距離感でトークに釘付け。

この言葉は、19世紀のフランスの画家ポール・ゴーギャンの有名な絵の題名です。去る10月15日に開催された第23回ふちゅう歴史フォーラムの講師、国立科学博物館の篠田謙一館長は、近著「人類の起源」の終章のタイトルにこのゴーギャンの作品名を取り上げられ、今回のフォーラムのテーマ「古代遺伝子研究の意義」についても、「人類の未来のあり方を考える土台となる」と、印象深く締めくくられています。

今回のフォーラムやスペシャルトークの参加者アンケートからは、初めて参加された人が半数を超え、「私達が置かれている現状や未来を考える視点が得られた」、「すぐにも東京の国立科学博物館に親子で行ってみたい」といった手応えが得られたようです。参加された子供さんと保護者が、親子で会話ができる良いきっかけになったという今までに無い反響もありました。

ゴーギャンのタイトルは、さらに「我々はどこにいくのか」と続きます。誰しもふと将来への考えを巡らすことがあります。今後も世代を超えて話ができるような府中の歴史フォーラムを展開していく予定です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

## ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その109

### 「上下かかしまつり」

上下高校では、1年生5人、2年生2人、3年生2人で放課後に集まり、10月下旬から開催される「上下かかしまつり」に出展する作品を作りました。



かかしは、『プーさん』をモデルに作りました。かかしの体はみんなで集めたペットボトルを使い、顔はビニール袋の中に新聞紙を丸めて形を整え、服は使わなくなった服を集め再現しました。

ほとんどの人が初めてのかかしづくりでしたが、学年関係なくみんなで協力して良い作品を作ることができました。



投稿者 (文と写真)  
上下高校1年  
小野 翔太さん



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」  
毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
12月4日(月)	ふるさと納税特集! 「スピングルムーブ」
12月11日(月)	ふるさと納税特集! 「府中焼き」
12月18日(月)	ふるさと納税特集! 「府中味噌を使ったフリーズドライ味噌汁」
12月25日(月)	ふるさと納税特集! 「洋酒ケーキ」

公式SNS  
LINE

公式SNS  
facebook

スマホアプリ  
radiko(ラジオ)

府中市メール  
配信サービス

My府中

iPhone

Android